

授業評価アンケート

2022年度 後期

授業コード : 222318

授業科目名 : 地域福祉方法論(保健・生活)

履修者数 : 60名

担当教員名 : 豊田 正利

回答者数 : 55名

学部 :	医療福祉	55	現代社会	0	経営法/総合政策	0	工/科学技術	0
	無回答	0						
学科専攻 :	理学療法	0	作業療法	0	言語聴覚	0	視覚機能	0
	看護	0	保健福祉	52	生活福祉	3	現代社会	0
	経営法/総合政策	0	知能情報	0	建築環境	0	臨床工学	0
	無回答	0						
学年 :	1年	0	2年	0	3年	49	4年	6
							無回答	0

設問文	⑤	④	③	②	①	科目平均	大学平均																
A: 授業への取り組みについて																							
問1. 授業の欠席回数は何回でしたか ⑤0回 ④1~2回 ③3~4回 ②5~6回 ①7回以上	11	22	20	0	2	3.73	4.39																
問2. 授業の他に学習活動(予習・復習・課題・レポートなど)をしましたか	19	18	9	6	3	3.80	4.29																
問3. 授業を受講する前にシラバスを確認しましたか	25	17	6	3	4	4.02	4.28																
問4. 授業内容でわからないことを先生に質問しましたか	9	19	11	8	8	3.24	3.77																
B: 授業内容・方法・成果について																							
問5. 授業方法について、使われた方法すべてにチェックしてください(複数選択可)	<table border="1"> <tr> <td>対面授業</td> <td>55</td> <td>遠隔(meet)</td> <td>40</td> <td>遠隔(音声ファイル)</td> <td>0</td> <td>遠隔(動画ファイル)</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>遠隔(チャット)</td> <td>2</td> <td>遠隔(課題)</td> <td>5</td> <td>遠隔(テスト)</td> <td>2</td> <td>無回答</td> <td>0</td> </tr> </table>							対面授業	55	遠隔(meet)	40	遠隔(音声ファイル)	0	遠隔(動画ファイル)	2	遠隔(チャット)	2	遠隔(課題)	5	遠隔(テスト)	2	無回答	0
対面授業	55	遠隔(meet)	40	遠隔(音声ファイル)	0	遠隔(動画ファイル)	2																
遠隔(チャット)	2	遠隔(課題)	5	遠隔(テスト)	2	無回答	0																
問6. 授業は系統的に整理、準備されていましたか	41	12	2	0	0	4.71	4.56																
問7. 授業内容は理解しやすかったですか	35	18	2	0	0	4.60	4.36																
問8. 授業中に質問しやすい環境でしたか	23	12	11	6	3	3.84	4.05																
問9. 授業のスピードおよび学習量は適切だったでしょうか	25	24	3	3	0	4.29	4.34																
問10. シラバスまたは授業始めに掲示された到達目標は達成されましたか	27	23	5	0	0	4.40	4.36																
問11. 授業内容は興味深く、知的好奇心を触発されましたか	29	18	7	1	0	4.36	4.37																
C: 授業の全般的印象																							
問12. 教員の熱意を感じましたか	42	11	2	0	0	4.73	4.51																
問13. この授業で専門的な知識や技術、または豊かな教養が身につきましたか	30	22	2	1	0	4.47	4.44																
問14. 総合的に判断すると満足できる授業でしたか	31	22	2	0	0	4.53	4.43																

学生へのメッセージ

本科目は社会福祉士養成カリキュラムの改正に伴う保健福祉学科最後の授業開講となります。これまで以上に、国家試験対策を重視した内容に刷新したつもりでおります。「総合評価」も科目平均を上回る結果となっており、安心しております。

毎回ミニツペーパーで質問を受け付けているにもかかわらず、レーダーチャートでは「授業内容を先生に質問」項目が科目平均値より低くなっていることから、今後、質問に対する積極的な受け入れ方法を工夫して、新カリキュラムにおける「地域福祉と包括的支援体制」の授業運営の工夫に努力してきたいと思います。

